

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 2 月 21 日

事業所名 門真市障がい者福祉センター放課後等デイサービスすてっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	利用児に合わせ部屋の物品等の配置を変えている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	2	その日によって職員間の声掛けによりたりない部分を補っている。	利用日が曜日によって偏りがある為、改善する必要がある。 時間内に業務が終了するように業務改善する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0	段差がなく手すり等も設置されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	ミーティングで業務改善を行っている。様々な事に対して目標設定し朝礼、終礼、ミーティング等で取り組んでいる。	PDCAサイクルについての研修を行い、職員に周知徹底を進める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	年1回、保護者向け放課後等デイサービス評価表によりアンケートを取っている。またその都度ご意見があれば改善に向けて話し合いを行っている。	保護者等へのアンケート結果を全職員に周知し、改善策を全員で話し合う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1		自己評価の結果をホームページで公表しているが、職員への周知を行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		法人で今後検討する必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	毎月テーマを決め研修を行っている。自分たちで資料作成を行う事で勉強に繋げる内部研修を行い外部研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	定期的に保護者との面談を行いニーズ等を聞き取り計画書に反映し支援を行っている。	ケース担当者会議を定期的に行い、今後ニーズや課題を職員間で分析し個別支援計画に反映させる。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		今後、現在使用している、アセスメントツールを見直し、参考様式等を元に取り入れていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	職員間で話し合い活動プログラムの立案を行っている。また担当者会議等を行い必要な活動の立案を行っている。	ケース担当者会議を定期的に行い、活動プログラムについても、話し合う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	利用児によっては、同じ活動の繰り返しにより、定着し活動の楽しさを理解してもらえないようにしているが、偏りが生じない様に活動の一覧表を作成し活用している。	今後も、外部研修に参加し、新しい活動を取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	長期休みに保護者も参加できる行事等もやっている。	課題は決めているが、単調になりやすい為、具体的に内容を決定する必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	日によって個別と集団の活動を取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	始業時に事前準備を行いスムーズに提供できるよう取り組んでいる。	必ず朝礼後に職員間で打ち合わせを行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	終礼を必ず行いその日の振り返りと共有する内容を話し合っている。	業務改善を行い、終礼開始時間を早め、細かいところまで話を進める。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	必ず記録を取っている。また経過記録の最終確認を行っている。	各利用児様の月マトメ(月間記録)にまとめる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1	最低半年に一度モニタリングを行いその都度(送迎時等)家族からの情報を得ている。	今後も定期的にモニタリングを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	0		今後、バランスを考慮した上で総則の内容に沿った支援を行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	様々な職種(直接かかわっている)が集まっている。	より多くの職員が参加できる様に時間等を考えていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		学校によって情報共有できる内容に差がある。今後は発信していく必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2	指示書に基づき行っている。場合によりかかりつけ医まで同行している。	医療ケア同意書を1年で更新、変更等の有無を確認していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	5		今後、できる限り進めていく。また、今後新規の方は、前もって就学前利用施設に確認を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4		今後、進路先事業所へアポを取り必要に応じて情報共有を図っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	定期的に研修を行ったり参加している。また外部で研修を受けた場合は、他の職員へ研修報告を行っている。	今後も、発達支援センターの連絡会に参加を行い、職員間で周知をおこなう。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	7		今後地域の学校との交流を図る為、進んでイベント等に参加していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	7		市のHP等で情報収集を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	ノートだけでなく、電話や送迎時に何うなどし情報共有している。	保護者に対し、現在より更に情報共有する機会を設けていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	2		質問等があれば、対応しているが、今後積極的に行っていく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	直接ご家族へ説明を行っている。	説明を行った事を職員へ伝える。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	分かる範囲内で、出来る限り対応している。	モニタリングで悩みなどを聞き取りを行う。適切な助言ができる様に、また職員の専門性を高める為に、研修等に参加する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	事業所の行事ごとに保護者に見に来ていただき同じテーブルを囲んで食事などをして頂き交流がはかれるように工夫している。	今後も、保護者に多く参加してもらう為に、日程枠を数日設定する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	直ぐに話し合い出来る限り直接、説明、謝罪を行っている。	できる限り訪問し、苦情に対し、迅速かつ適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	機関誌を発行したり、HPIに掲載している。	継続し、毎月の機関紙を発行し、配布する。また、法人ホームページにて、活動の内容等を掲載していく。
	35	個人情報に十分注意している	10	0	名前の記載があるような書類は、シュレッダーを掛ける等している。個人が特定できるような名前等は、見えないように努めている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	直接申し送りなどを注意しないとけない利用児様などは、ノート等で申し送りをするなど配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0	年1回、ふれあい祭りを開催し地域開放し小学校へは、チラシを配布したり地域の中学校やボランティアの方に出しものを依頼している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	各マニュアルを作成して避難訓練など実施している。	防犯マニュアルについては、今後不備などについて検討を行い周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	1か月に一度は避難訓練を実施できるようにしている。また管内全体の訓練に毎年参加している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	毎年研修へ参加し周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		今後、ベルト等の使用についてご家族と細かい取り決めを行い個別支援計画書等に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3		必要であれば、ご家族と確認を取り指示書の作成を進める。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ファイリングし共有できるようにしている。	今後朝礼などで周知していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:平成 31年 2月 21 日

事業所名 門真市障がい者福祉センター放課後等デイサービスすてっぷ

保護者等数(児童数) 31

回収数 18

割合 58 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 又は 無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1	0	0		各組の部屋の整理整頓を日頃から行い活動スペース等を確保するように取り組んでいる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	1		基準を満たした職員配置を行っている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	1	0	0		全面的に手すりが設置されており段差が無い環境
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	2	0	0		ある程度、繰り返し行うことも必要だが、それ以外に関しては、マンネリ化しない様、工夫していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	10	1	3		学校休日のご利用の際、地域の公園などに遊びに行く等の活動を取り入れ、障がいのない子どもたちと関わる機会を設ける。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	2	0	0		今後更に送迎時や電話での申し送りを密に行っていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	0	0		面談以外でもご家族に対し育児に関する問い合わせを行っていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	6	0	2		今後も、イベントごとに参観や懇談を継続し実施していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	1	0	2		引続き苦情やクレームがあった場合問題点と改善策を検討し迅速に対応する。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2	0	0		必要に応じて経過記録の保護者記入欄や事業所蘭に申し送りなどを記入している。また直接送迎の際に添乗から申し送りを行ったり電話での申し送りを行っている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3	0	0		毎月機関誌の発行を始めた。またホームページの更新を定期的に行っている。
14 個人情報に十分注意しているか	17	1	0	0		今後も引き続き注意していく。写真掲載についてもアンケートを取っている。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	2	0	1		今後、保護者会等で各マニュアルについて伝えていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	3	0	1		月1回の避難訓練を今後も実施し利用児様に満遍なく参加して頂けるように実施する曜日を選択し実施する。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	4	毎日とても楽しく過ごさせていただけたいです	個々の利用児様の状況に応じて工夫し楽しんでいただけるように質の向上に努めていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	1	0	3		今後も楽しんで頂けるようにモニタリングなどで聞き取りを行い工夫していく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。